

評価住宅《住宅性能表示》

グローリオ三鷹禅林寺通りⅡ

評価結果シート

評価結果

等級及び表示は標準タイプの住戸を示します

構造の安定		環境		空気環境		光・視環境		音環境		火災の安全		軽劣減化		更新への配慮		防犯					
1-1	耐震等級 (構造躯体の倒壊等防止)	等級1	等級2	等級3	環境 熱	5-1	省エネルギー対策等級	地域区分: IV	等級1	等級2	等級3	等級4	光・ 視 環境	7-1	単純開口率	16% 以上					
1-2	耐震等級 (構造躯体の損傷防止)	等級1	等級2	等級3		6-1	ホルムアルデヒド対策 (内装及び天井裏等)	特定建材、その他の建材	等級1	等級2	等級3			7-2	方位別開口比	北面: -	南面: -	東面: 15% 以上	西面: 78% 以上	真上: -	
1-3	その他 (地震に対する構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	その他		空気 環境		ホルムアルデヒド 発散等級(特定建材 を使用する場合)	内装	等級1	等級2	等級3				音 環境	8-1	重量床衝撃音対策	選択なし				
1-4	耐風等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	等級1	等級2					天井裏等	等級1	等級2	等級3					最高	最低	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
1-5	耐積雪等級 (構造躯体の倒壊等防止及び損傷防止)	該当区域外					居室の換気対策	機械換気設備								下階	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5	
1-6	地盤又は杭 の許容支持力等及びその設定方法	杭の許容支持力 1700~8773 kN/本 地盤の調査方法等 標準貫入試験、孔内水平載荷試験		6-2		換気対策	便所	機械換気設備													
1-7	基礎の構造方法及び形式等	杭基礎		局所換気対策		浴室	機械換気設備														
		杭種	支持杭	台所	機械換気設備																
2-1	感知警報装置設置等級 (自住戸火災時)	等級1	等級2	等級3	等級4	8-1	重量床衝撃音対策	選択なし				2-3	避難安全対策 (他住戸等火災時・共用廊下)	排煙形式 開放型廊下	直通階段との間に他住戸等がない	耐火等級 [避難経路の隔壁の開口部]	等級1	等級2	等級3		
2-2	感知警報装置設置等級 (他住戸火災時)	等級1	等級2	等級3	等級4	8-2	軽量床衝撃音対策	選択なし				2-4	脱出対策 (火災時)	隣戸に通ずるバルコニー 避難器具: 避難はしご		等級1	等級2	等級3			
2-3	避難安全対策 (他住戸等火災時・共用廊下)	開放型廊下		8-3	透過損失等級 (界壁)	選択なし				2-5	耐火等級 (延焼の恐れのある部分(開口部))	等級1	等級2	等級3							
2-4	脱出対策 (火災時)	隣戸に通ずるバルコニー 避難器具: 避難はしご		8-4	透過損失等級 (外壁開口部)	北面	1	2	3	南面	1	2	3	2-6	耐火等級 (延焼の恐れのある部分(開口部以外))	等級1	等級2	等級3	等級4		
2-5	耐火等級 (延焼の恐れのある部分(開口部))	等級1	等級2	等級3		東面	1	2	3	西面	1	2	3	2-7	耐火等級 (界壁及び界床)	等級1	等級2	等級3	等級4		
2-6	耐火等級 (延焼の恐れのある部分(開口部以外))	等級1	等級2	等級3	等級4									3-1	劣化対策等級 (構造躯体等)	等級1	等級2	等級3			
2-7	耐火等級 (界壁及び界床)	等級1	等級2	等級3	等級4									4-1	維持管理対策等級 (専用配管)	等級1	等級2	等級3			
3-1	劣化対策等級 (構造躯体等)	等級1	等級2	等級3	8	高齢者等配慮対策等級 (専用部分)	等級1	等級2	等級3	等級4	等級5	4-2	維持管理対策等級 (共用配管)	等級1	等級2	等級3					
4-1	維持管理対策等級 (専用配管)	等級1	等級2	等級3	9-1	高齢者等配慮対策等級 (専用部分)	等級1	等級2	等級3	等級4	等級5	4-3	更新対策 (共用排水管)	更新対策等級 等級1	等級2	等級3					
4-2	維持管理対策等級 (共用配管)	等級1	等級2	等級3	9-2	高齢者等配慮対策等級 (共用部分)	等級1	等級2	等級3	等級4	等級5	更新への 配慮	共用排水立管 の位置	住戸専用部・その他							
4-3	更新対策 (共用排水管)	更新対策等級 等級1	等級2	等級3	10-1	開口部の侵入防止対策	a	該当なし						躯体天井高	2,750 mm以上						
4-4	更新対策 (戸専用部)	異なる躯体天井高 が存する場合 内法高さ	はり		a	住戸出入口の 存する階	b	該当なし				その部位 が存する場合 内法高さ	はり								
	住戸専用部の構造躯体の壁又は柱の有無	なし		b i	建物出入口の 存する階以外の階	c	該当なし				2,320 mm以上		はり								
	住戸専用部の構造躯体の壁又は柱の有無	なし		b ii		c	該当する開口部なし					2,320 mm以上		はり							